

(表)

別記様式第2号（その1）

避難計算確認書

名 称			
所 在			
床 面 積 合 計	() m ²		
要保護者人数	() 人		
従業者等人数	最多〔 時 分～ 時 分〕() 人 最少〔 時 分～ 時 分〕() 人		
従業者待機場所	☐ 受信機等設置場所 ☐ その他		
近隣協力者人数	() 人		
消防用設備等	① 自動火災報知設備 : ☐ 有 ☐ 無 ② 消防機関へ通報する火災報知設備 : ☐ 有 ☐ 無		
ストレッチャー・担架等使用	☐ 有 ☐ 無		
	基 準	計画	図面番号
判 定	各居室がそれぞれ火災室となった場合を想定し、そのすべてにおいて、防火対象物からの避難所要時間が避難限界時間を超えない。		
	各居室がそれぞれ火災室となった場合を想定し、そのすべてにおいて、火災室からの避難所要時間が当該居室の基準時間を超えない。		
	自動火災報知設備及び消防機関へ通報する火災報知設備が設置されている。		
	ストレッチャー、担架等（車椅子を除く。）を用いて介助を行う場合には、従業者等が2名以上確保されている。		
近 隣 協 力 者 等 の 駆 け つけ 時 間	① 2〔分〕 ≥ 歩行距離〔m〕 ÷ 80〔m/分〕 ② 2〔分〕 ≥ 歩行距離〔m〕 ÷ 250〔m/分〕		
副 受 信 機 等	近隣協力者・代替介助者の居所に副受信機等が設置されている。		
近 隣 協 力 者 等 の 同 意	近隣協力者本人・代替介助者本人の同意がある。（同意書がある。）		
近 隣 協 力 者 等 の 要 件 明 記	関連図書に必要事項（①近隣協力者本人・代替介助者本人の同意がある旨、②火災発生時の活動範囲、③不在時における代替介助者の確保方策、④その他必要な事項）が記載されている。		
代替介助者の確保	近隣協力者1人につき代替介助者（近隣協力者に準ずる者に限る。）1人以上を確保している。		
その他必要事項			

(裏)

備考

- 1 基準欄の内容は、要約したものですから、細部については「避難時間算定要領」を必ず確認してください。
- 2 基準の適合状況等が確認できる図面、事業計画等を添付してください。
- 3 床面積合計欄には、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、指定短期入所生活介護事業所、指定介護予防短期入所生活介護事業所（以下「特別養護老人ホーム等」という。）の用途に供される部分の床面積の合計を記入してください。
- 4 要保護者人数欄には、要保護者（特別養護老人ホーム等に入所している高齢者、障害者等をいう。）の合計人数を記入してください。
- 5 従業者等人数欄には、従業者等（特別養護老人ホーム等に勤務する職員（臨時職員を含む。）等をいう。）の人数を記入してください。
- 6 従業者待機場所欄には、従業者等が受信機等設置場所に常時待機している場合は「受信機等設置場所」の□にレ点、一時でも受信機等設置場所以外に待機することがある場合は「その他」の□にレ点を記入してください。
- 7 近隣協力者人数欄には、近隣協力者（特別養護老人ホーム等に併設されている関連施設の関係者、特別養護老人ホーム等の近隣に居住する特別養護老人ホーム等関係者、特別養護老人ホーム等と契約している警備会社の職員等で、火災発生時に駆けつけて避難介助等を行う者をいう。）の人数を記入してください。
- 8 消防用設備等欄には、自動火災報知設備及び消防機関へ通報する火災報知設備を設置している場合は「有」の□にレ点、設置していない場合は「無」の□にレ点を記入してください。
- 9 ストレッチャー・担架等使用欄には、ストレッチャー、担架等（車椅子を除く。）を用いて介助を行う要保護者がいる場合は「有」の□にレ点、当該要保護者がいない場合は「無」の□にレ点を記入してください。
- 10 近隣協力者等の駆けつけ時間欄は、徒歩で駆けつける場合は①式、自転車で駆けつける場合は②式に適合するようにしてください。（各式の歩行距離は、別記様式第2号（その3）の歩行距離をいう。）
- 11 近隣協力者等の駆けつけ時間欄、副受信機欄、近隣協力者の同意欄、近隣協力者の要件明記欄及び代替介助者の確保欄は、近隣協力者・代替介助者を確保している特別養護老人ホーム等の場合のみ記入してください。
- 12 計画欄には、要件に適合するものには○印、適合しないものには×印、該当がない場合は斜線を記入してください。
- 13 図面番号欄には、基準の適合状況等が確認できるように、添付した設計図書等の図面番号を記入してください。